

♪ 2021年度 **poco a poco** ♪

Nr. 11

2021年9月2日(木)

文責:プファイル・辰巳

## 9月のお天気は?

雨の多かった8月が終わりました。9月のお天気はどうなるのでしょうか。中学部2年生の修学旅行は現在進行中。来週以降も小学部の修学旅行や宿泊学習など各学年、様々な校外学習が予定されています。お天気に恵まれて、楽しい思い出がたくさんできるといいですね。

さて、2学期が始まって約2週間。学校生活のリズムは戻ってきたでしょうか。2学期は秋休みをはさむものの、かなりの長丁場になります。早寝早起きや朝食をしっかり摂ることなどを心がけ、元気に学校生活を送ってください。



## 音楽こぼれ話 <楽譜出版のお話 ⑨>

### 日本の楽譜出版社>

右のマークはヤマハ楽器のロゴです。3つの音叉が交差するデザインになっています。このヤマハミュージックからも種々の楽譜が出版されていますが、日本の楽譜出版社は、実はかなり数が多いのです。



「音楽之友社」「カワイ出版」「教育芸術社」「春秋社」「鈴木楽器」「全音楽譜出版社」「ドレミ楽譜」「日本楽譜」そして前述の「ヤマハミュージック出版」…。特殊な楽器のための専門的な楽譜出版社(例えば和楽器やブラスバンド、軽音楽専門など)まで数えると、もっともっとあります。

気がつかれた方も多いかと思いますが、名前を挙げてみると、日本の楽譜出版社は出版業単独の会社は少なく、楽器制作販売や教科書出版など、幅広い背景を持つ総合的な会社であることが分かります。

明治時代に、ヨーロッパやアメリカからいわゆる西洋音楽が、その他の文化と共に日本へ入ってきて以来、ピアノやオーケストラの楽譜が、日本でも徐々に編集・印刷・出版されるようになりました。しかしながら、ヨーロッパの老舗出版会社に太刀打ちできるものではなく、日本の音楽出版社は音楽ビジネスに幅広く関わる中で発展してきました。印刷される楽譜も、クラシック音楽だけではなく、J-ポップス、放送番組のBGM、CMの曲、映画音楽、教育用合唱曲、ブラスバンド用コンクール曲など、日本人のニーズに合わせて、多様なジャンルに広がっています。

最近では、コンピュータゲームのBGMやアニメソングの楽譜の需要が拡大するなど、楽譜出版を含む音楽ビジネスはさらに多様化しています。著作権の問題など、新しい課題も出てきていますが、日本の楽譜出版業が音楽ビジネスに果たす役割は、今後も多様化していくことが予想されます。

## ちょっとだけ 演奏会情報

アルテオーパーやフランクフルト・オペラ座、ヴィースバーデンの歌劇場などから、今シーズンのプログラムが発表され始めました。制限が全く無くなったわけではありませんが、演奏会に徐々に足を運べるようになってきたのは嬉しいですね。マスクの着用、ワクチン接種手帳の提示など、町々の感染状況や会場ごとの対応によってルールは様々ですので、コンサートに行かれる際には予め情報を確認して、演奏会シーズンを楽しんでください。

### ヴィースバーデン 州立歌劇場 9月の演目より

モーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」

9月15日(水) 19:30~ , 17日(金) 19:30~

ミュージカル「マイフェアレディ」 9月18日(土) 19:30~

ヴェルディのオペラ「イルトロヴァトーレ」

9月19日(日) 18:00~ ,

25日(土) 19:30~ , 30日(木) 19:30~

モーツァルトのオペラ「魔笛」

9月26日(日) 18:00~